

平成25年 9月16日
独立行政法人
日本原子力研究開発機構
敦賀本部

台風18号による影響等について
(お知らせ)

原子力機構敦賀本部における台風による施設等への影響について、以下の通りお知らせします。

○高速増殖原型炉もんじゅの状況：

「もんじゅ」のプラントに異常はありませんが、本日午前3時頃、「もんじゅトンネル」入口（美浜側）付近の道路を土砂や倒木が覆い、車両が通行できない状況を確認しました。

その後、8時30分頃から「もんじゅ」保有のホイールローダにより、トンネル内の土砂の撤去を可能な範囲で行い、12時30分頃に歩行による通行が可能になりました。引き続き、12時50分頃から本格的な復旧作業を行っていましたが、16時30分頃、車両の通行が可能となりました。

(添付参照)

なお、9月16日（月）午前3時前から、SPDS*の信号が受信側で受信できない状況となり、現在、ファックスで送信しています。原因は調査中です。

*SPDS (Safety Parameter Display System)：

原子炉安全状態監視装置（もんじゅにおけるプラントデータの表示システム）

○廃止措置研究開発センター（ふげん）の状況：

「ふげん」のプラント等に異常はありません。

以上

